

令和元年度 第2回 教育課程編成委員会議事録

日 時 令和2年2月20日（木）14：30～15：50

場 所 学校法人 ほつかいどう学院 くしろせんもん学校 3階 第7講義室

出席委員 北構 和代 (釧路市私立保育園連合会副会長・治水どんぐりの家保育園 園長)
山本 綾子 (釧路市私立幼稚園連合会理事、会計・釧路聖母幼稚園 園長)
小野 信一 (北海道社会福祉協議会 釧路地区事務所 所長)
伊東 義光 (北海道介護福祉士会釧根支部 支部長
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長)

出席職員 杉村 典史 (くしろせんもん学校 校長)
渡邊 千華子 (くしろせんもん学校 介護環境科 学科長)
氏原 陽子 (くしろせんもん学校 こども環境科 学科長)
田仲 京子 (くしろせんもん学校 こども環境科 教員)
伊東 利恵 (くしろせんもん学校 介護環境科 教員)
若生 みゆき (くしろせんもん学校 事務主任)

欠席者 戸田 竜也 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)

配付資料 ①レジュメ（委員名簿）
②令和元年度 第1回 教育課程編成委員会（出席者名簿・次第など）
③資料1～経過報告と今後の予定、連携企業
④資料2～令和2年3月卒業生の状況
⑤両学科資料～今年度の教育課程及び来年度の教育課程（予定）について
⑥年間行事計画ほか

1. 開会（司会：田仲）

2. 次第

(1) 挨拶（杉村）

(2) 今年度の委員と学校職員の紹介

(3) 令和元年度 第1回 教育課程編成委員会の議事録の確認（若生） 資料②参照

(4) 経過報告（杉村）

①学校全体に関わること

②学生に関わること

③報告に対する質疑応答

伊東委員から質問

高等技術専門学院委託生の募集人員は何名か。

学校側回答（杉村）

今年度は、こども環境科11名、介護環境科10名。

小野委員より質問

台湾との協定について、今後の具体的な展開は。

学校側回答（杉村）

現在、具体的な動きはないが、将来的に学生が入学してもらえると良いと思っている。

(5) 今年度の教育課程と来年度の教育課程に関わって（企業連携を含めて） 資料⑤参照

①報告

・こども環境科（氏原）…1月14日～27日 保育実習IA 資料に追記。宿泊研修とネイチャーゲームを同時実施予定。

・介護環境科（渡邊）…介護福祉士資格経過措置について、現高校2年までが対象だったが、延長になった。

②報告に対する質疑応答

伊東委員から質問

高卒生へ修学資金制度は周知されているのに、学生層につながらない理由は。

学校側回答（杉村）

今年度の介護環境科に入学した高卒生は4名。北海道の修学資金を利用している。過去3年間、事業所独自の修学資金制度を利用した学生が1名いるのみで、なかなか結び付いていない。

伊東委員から質問

制度自体を知らない可能性は？

学校側回答（杉村）

遠方の高校に出向き説明等してきた。また、入学生には直接周知している。

（田仲）

企業から高校へアピールしていただくことも効果的ではないかと感じる。

伊東委員から意見

企業としても進路指導担当の教員に伝え続けて周知していきたいと思う。

（渡邊）

入学前（高校在学中）に契約する企業もあると聞いた。

（校長）

企業独自の修学資金制度について、返還免除になるためにはその企業で数年間働くことが条件なので、ハードルが高いと感じている学生もいるかもしれない。

（田仲）

入学したいが経済的理由で悩んでいる家庭に、どのように周知させられるかが課題。

伊東委員から意見

高校生よりも保護者に伝えることが大事だと思う。

小野委員から質問

介護福祉士資格取得のための5年間継続勤務で、もしその間に退職などした場合はどういう対応になるのか。

（渡邊）

国家試験受験義務化がはじまり3年目になり、現高校3年までは、不合格でも5年間継続して介護職に従事すると正式な介護福祉士資格を取得することができる。退職等で別の施設で勤務しても合算してもらえる。

小野委員から質問

5年以下の勤務でも資格の返還義務はないのか？

（渡邊）

資格証の返還義務はない。

（6）教育課程の編成についての意見交換

山本委員より意見・質問

「子どもが好き」だということが1番大事。やる気や積極性につながる。実習生には「もっと積極的で良い」ことや「失敗を恐れずに」と話す。疑問に思ったことは何でも聞いてほしい。

アクティビティインストラクターの説明をお願いしたい。

学校側回答（氏原）

友人関係や実習への不安が学生によって大きく差がある。「子ども好き」＝「保育者」ではないのかもしれない。

（渡邊）

東京の高齢者アクティビティ開発センターと連携し、北海道では釧路市のセミナーを実施。本校の授業にも、アクティビティディレクター資格を持った講師が来てくれている。保育にも活用できる。

山本委員より質問

江原啓之氏の講演や、池田明子氏のハンドマッサージなど、幅広い授業を行っていることに驚く。実施状況は？

学校側回答（渡邊）

池田講師は、平成26年度からお願ひしている。そのつながりで江原氏に来ていただいた。

本校のこども環境科と介護環境科では、社会人入学者の割合が違う。苦手さを持っている学生がいることは事実だが、社会人学生がクラス内でうまくフォローしてくれる部分もある。

北構委員より意見

実習で保育士になりたい気持ちが強くなる学生と、大変さを感じる学生に大きく分かれる印象。保育園、幼稚園、認定こども園など選択の幅が広がった。短時間勤務や本人の意欲に合わせた働き方を検討する必要があるかもしれないと思っている。

学校側回答（田仲）

子どもと向き合うだけではなく、スキルが高く色々なことができる人材を求められるようになってきた。企業と学生のギャップが大きいかもしれない。遊び方の指示など、学生にもっと具体的に指導をして欲しい。

（氏原）

釧路の企業には、本校の職場説明会にぜひ参加していただきたい。

伊東委員から質問

今年度卒業する学生の就職動向を教えて欲しい。

学校側回答（伊東）

国家試験を終えてから就職活動する学生が多かった。違う道も考え他分野で就職先を探している学生もいる。

小野委員から意見

終末期医療についての映画を見て、在宅における介護の役割を考えたときに、人材が不足していたら在宅介護はできない。利用者の尊厳や人生を考えながらケアできる人材を求めてている。

学校側回答（杉村）

学生の覚悟を育てて行くことも学校の役割だと思う。

小野委員から意見

2年間の在学期間では難しい部分もあると思う。そのために連携企業がある。実習報告会に参加した際、フィードバックの連携も必要だと感じた。共同体制なくして育てていけないと感じている。

(7) 質疑応答 特になし

(8) その他 特になし

閉会（司会：田仲）

以上

（記録：若生）